

NEXT

55



みんなの力で、みんなの幸せを

SAWARABI

さわらび

1 表紙 果樹園みかん狩り～明日香～

2 医学講話 わが国の難病対策

◆日本皮膚科学会認定皮膚科専門医
認知症サポート医 日本医師会認定産業医
日本医師会認定健康スポーツ医

斉藤 友紀子

6 特集 医療法人さわらび会 福祉村病院介護医療院
～令和2年4月より、介護療養病棟が介護医療院に変わります～

2020 4
vol.564



医学講話

日本皮膚科学会認定皮膚科専門医
認知症サポート医
日本医師会認定産業医
日本医師会認定健康スポーツ医

齊藤 友紀子



わが国の難病対策

わが国の難病対策事業について、一九六〇年代に多発したスモンの制圧から端を発し、二〇一四年に難病法が成立し現在に至るまでの歴史的な経緯を概説する。

スモン対策事業から始まる

一九六〇年代に全国で多発し「原因不明の奇病」として恐れられたスモンの原因を、短期間に解明し新規発生を終息させたスモン対策研究事業が、わが国の希少難病克服事業の原型である。この成功体験をモデルにして、「原因不明で効果的治療法がなく、長期にわたって心身の機能障害により患者を苦しめる」

スモンについて

一九五〇年代半ばから既知の疾患とは異なる新奇の神経障害が全国各地に散発し始め、一九六〇年頃から爆発的多発になった。臨床症状は、激しい下痢や腹痛などの腹部症

状に続いて、亜急性に進行する下肢の耐え難いしびれ感、対麻痺、歩行障害、両眼の視力低下が特徴で、「亜急性脊髄、視神経、末梢神経障害 subacute myelo-optico-neuropathy」の頭文字 S M O N をとってスモンと呼ばれるようになった。

スモンは特定の地域、病院、家族内に集団発生したこともあり、マスコミはウイルス性伝染病の可能性をセンセーショナルに報道し、結果的に社会の偏見を助長、病気の重篤さと周囲の偏見から自殺者が出る事態となり、また患者数は一万人を超え、社会問題化した。一九六九年には全国スモンの会が結成され、原因究明と患者救済を求める国民運動が展開された。政府はスモン対策の重要性に鑑み、厚生省と科学技術庁から当時としては異例の高額研究費を拠出してスモン調査研究協議会を結成し、患者救済と原因解明研究に取り組んだ。

一九七〇年初めに、椿らは原因が止痢薬として服用したキノホルムである可能性を突き止めた。スモン患

者に緑舌、緑便、緑尿が出現するため、患者の尿中に析出した緑色結晶物を薬理的に分析し、緑色物質はキノホルムと鉄イオンの錯化合物であることが判明した。直ちに患者の病歴調査が開始され、ほとんどの患者において症状出現の順番は、「腹部症状出現→キノホルム服用開始→神経症状出現」であることが判明したので、椿らは「スモンは患者が服用した整腸薬・キノホルムの副作用である可能性が高い」と結論し、八月に厚生省にキノホルム原因説を通告した。九月にキノホルム使用は禁止され、十月から患者発生が激減し、一九七二年には発生がほぼ終息した。

一方、キノホルムは世界中で使用されていたにも関わらず、何故わが国だけにスモンが多発したのかという疑問が出されたが、カルテ調査によつて、わが国では添付文書を無視したキノホルムの過剰投与が横行していた実態が明らかになった。スモンが「薬害の原点」と呼ばれるのはこのような経緯による。

一九七一年のスモン対策費で「入院スモン患者に対して研究協力謝金として月額一万円を支給する」ことが予算化され、その後の難病克服事業の医療費公費補助に引き継がれた。

難病対策事業の開始

スモンが発生した昭和三十年代は、水俣病、四日市喘息、イタイイタイ病などに代表される公害被害が各地で起こり、社会問題に目が向けられた時代であった。そのような背景にも後押しされて、希少難病性疾患の研究と救済策が必要であると

事業の見直しと現在へ

事業発足から二十年を経た一九九二年に、事業の現状と問題点を整理し今後の方向性を検討する難病対策専門委員会が設置され、本事業を他の難病性疾患対策事業から区別する特色として一九九七年に特定疾患の選定基準に「希少性」が明文化して盛り込まれた。希少性は概ね

難病の定義は、

- 一 発病の機構が明らかでない
 - 二 治療方法が確立していない
 - 三 希少な疾病であつて
 - 四 長期の療養を必要とするもの
- という四つの条件を満たすもので、指定難病にはさらに、

五万人未満と規定された。

その後も難病事業の拡大につれて医療費助成対象の特定疾患数と患者数は増加の途をたどり、二〇一四年度には五十六疾患、925,646人（五十倍以上）に激増した。事業は財政的には破綻状態となり、医療費助成金の財源確保の検討が開始され、二〇一三年に難病事業の法制化作業が開始された。

「難病の患者に対する医療等に関する法律」いわゆる難病法が二〇一四年五月に国会にて可決成立し、二〇一五年一月一日に施行された。難病法では、「医学的希少難病性疾患としての難病」と、医療費助成の対象となる「指定難病」の定義が示された。

難病の定義は、

- 一 発病の機構が明らかでない
 - 二 治療方法が確立していない
 - 三 希少な疾病であつて
 - 四 長期の療養を必要とするもの
- という四つの条件を満たすもので、指定難病にはさらに、

- 五 患者数が本邦において一定の人数（人口の0.1%程度）に達しないこと
 - 六 客観的な診断基準（又はそれに準ずるもの）が確立していること
- という二条件が加わっている。現在（令和元年度）の指定難病は333疾病となっている。

現在、指定難病の診断は、難病法の規定により難病指定医のみが新規診断を行うので、難病の申請を最初にする際には患者さんはまず難病指定医のところに行く必要がある。医療費助成受給は都道府県および指定都市に申請し、支給認定を受ければ申請日に遡って医療費を受給することが可能である。

参考：日本医師会雑誌 第10巻特別号(1)指定難病ペディアNOTO「歴史―スモン対策事業、難病性疾患克服研究事業から難病法まで」葛原茂樹 より一部改変して抜粋しました。

2020年度 入社式



令和2年度医療法人さわらび会13名、社会福祉法人さわらび会6名の入社式が3月23日9時から第二さわらび荘ふれあいホールで行われました。理事長山本孝之、CEO/DEO山本左近の歓迎の言葉に続き新人職員代表の田中遥己さんが誓いの言葉を述べました。今年新型コロナウイルス感染症COVID-19の影響で、例年は新卒者と一緒に新人研修を受講する中途採用者は不参加とし感染症への注意を払った入社式となりました。

続いて永年勤続表彰も人数を22名まで制限、勤続40年の平松敬一さんが謝辞を述べました。最後に記念撮影を行い閉会となりました。(谷)

新入職員氏名

田中 遥己 ● 理学療法士
田中 雅也 ● 理学療法士
稲垣 慶丞 ● 作業療法士
島山 未来 ● 看護師
佐原 史奈 ● 管理栄養士
服部 幸知 ● 管理栄養士
森下 愛佳 ● 管理栄養士

永井 佳実 ● 調理員
西澤 亜純 ● 調理員
上田なずな ● 事務員
横田 紗弥 ● 事務員
岩瀬 葵 ● 事務員
桐生 果宝 ● 介護士
藤江 紗矢 ● 介護士

道下 琴美 ● 介護士
兵藤 温和 ● 介護士
白井 一真 ● 介護士
谷口 翔 ● 生活支援員
山本亜香里 ● 保育士

研究通信

news of study

Vol. 144

名古屋市立大学大学院医学研究科地域医療教育分野(地域療養医学分野兼務)特任教授

赤津 裕康

地域高齢者における身体的フレイルへの影響因子の検討(第二報)

ちょうど一年前の本号で名古屋市緑区鳴子町の大学施設での地域高齢者フレイルド活動をご紹介をさせていただきました。その後も継続的に測定を行っており、今回は地域の健康高齢者に呼び掛け六十名に対して、身体・体力測定(体成分、握力、開眼片脚立ち、三十秒椅子立ち上がり、Time up and go: TUG、歩行速度)と簡易認知機能テスト(MoCA-J: モントリオール簡易認知機能評価スケール日本語版)を行った結果の概要を報告したいと思

います。年齢中央値による二群間(未満七十歳「若年群」vs. 以上七十歳「高齢群」)では対象者背景因子や各測定結果の比較を行いました。更に、筋力、骨格筋量、および身体機能について、Pearsonの相関係数によりそれらの関連性を検討しました。一般的な情報聴取において、七十歳以上の高齢群で、無職、独居率が多く、有意に高かった傾向を認めました(当然と言えば当然の結果です)。

また、疾病罹患や通院・服薬状況では両者に有意な差を認めず、身体的には身長、体重と四肢・左右下肢の徐脂肪量が若年群で有意に高値でニア・フレイルの状態を反映していると言え、そういう事になります。運動能力では握力とTUGの(写真・椅子に座った状態から立ち上がり3m先のボールを回って帰ってき



が若年群で優れていました。また、各測定値相互の相関においては唯一、握力が四肢徐脂肪量との相関を認め、筋量を間接的に把握するために握力測定を行えば有用であることが明らかとなりました。また、今回は体力測定以外に、軽度認知機能低下のスクリーニングとして用いられるMoCA-Jも行いました。その結果、定期的に我々施設にいられてちゃんと身体・体力測定に参加されている方々でも、より高齢になると一定数の割合でMoCA-Jの

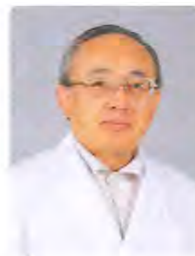
失点が見られる方が居ることも判明しました。これは加齢が認知機能低下の最大のリスクファクターであることを物語っている事を反映した結果かと思われます。しかし、裏返しの方を見ると、八十歳前後になっても地域活動に参加されているからこそ軽度認知機能低下に留まっている結果である可能性も伺えました。今回は参加人数が十分であったわけではないため、そのあたりを統計学的に証明するのは難しいと思われます。今後我々の地域での取り組みは折を見てご報告いたします。(今回の研究は、AMED: 日本医療研究開発機構の介護予防(軽度認知症・フレイル等)につながる「J」活用による行動変容促進サービスの創出に関する研究(社会受容を踏まえた研究)の支援を受けて行われました。また、その詳細は六月に開催予定の日本老年医学会で報告予定です)

特集

医療法人さわらび会 福祉村病院介護医療院 〜令和二年四月より、介護療養病棟が介護医療院に変わります〜

「病気の療養が必要でも住み慣れた地域で生活ができる場所」としての役割を持つ新しいカタチの施設が求められることとなり、二〇一八年四月から創設されたのが「介護医療院」です。介護医療院にはI型・II型があります。福祉村病院ではI型介護医療院に転換します。

院長就任の挨拶



福祉村病院 介護医療院 院長 小橋 修

少子高齢化が急速に進む超高齢社会の医療体制を整備するために、国の威信をかけて国公立病院の再編・統廃合(ダウンサイジング)や地域包括ケアシステムの構築などが進められております。その中で医療機関は、超急性期病院、急性期病院、回復期リハ病院、慢性期療養型病院(療養

型医療病床と療養型介護病床)に区分されてきました。

二〇一七年四月の診療報酬改定で、療養型介護病床は廃止され、向こう六年以内に従来の慢性期介護療養病床(当院では第二病棟二階から五階)を介護医療院等の施設に転換していくこととなりました。これを受けて、福祉村病院では四月より、第二病棟二階から五階を介護医療院として開設することになりました。居室はパーティションによってよりプライバシーが保たれるようになり、介護支援や医療支援は、従来通り滞りなく実施されますので、ご安心ください。新しく生ま

れ変わる介護医療院に、継続して入所される方やそのご家族様にとっては色々な心配があると思われまます。ご不明な点は、担当者にご質問いただくなどして、十分ご理解されまして、これまで以上の安心感を持って療養されますことを願っています。

従来にも増して従業員全員が心を更に新たに「みんなの力で、みんなの幸せを」願って、この実現のために邁進する所存でございます。いきいきとして、幸せを感じていただける、皆様に愛され、必要とされる介護医療院になるようにスタッフ一同励む所存ですのでよろしくお願いいたします。

介護療養病床との違い

医療提供は介護療養病床と同水準ですが、「生活の場」を提供する施設なので、パーティション家具やカーテンでプライベート空間を作る、レクリエーションを充実させるなどして、療養環境をより充実させ、自宅での生活になるべく近い環境で過ごしていただけます。

他の介護保健施設との違い

各施設の目的は次のようになります。

◆**介護医療院**
医療的管理のもとで長期にわたり療養が必要な方で、療養上の管理、看護、介護、リハビリ等が必要な要介護者のための施設

◆**介護老人保健施設**
在宅復帰を目指す要介護者に対し、リハビリ等を提供する施設

◆**介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)**
介護や機能訓練、健康管理などを行う生活施設

基本的な三つのサービス

介護医療院の基本的なサービスは次に挙げる三つとなります。

- 1 日常生活支援
プライバシーに配慮した生活環境
- 2 医療ケア
投薬・処置・検査等の医療行為
- 3 介護サービス
食事、排泄等の介護レクリエーション・機能訓練

生涯利用できるのか

他の介護保険施設に比べ、医療や介護の必要度の高い方が対象となります。入所者様の状態に応じて、看取りや終末期ケアも行います。

医療行為等の必要度が低くなった場合は、自宅または他施設など、入所者様にとって、より適した環境で生活をしていただくための支援をさせていただきます。

入所対象者

要介護認定の要介護1から要介護5に該当



医学的管理のもとで長期療養が必要な(下記のいずれかに該当する)方で、在宅や他の介護保険施設では対応が難しい方

- 喀痰吸引の必要な方
- 経管栄養(胃ろう等)の方
- 糖尿病によりインスリン注射が必要で自己管理が難しい方
- 認知症等の周辺症状等がありケアが必要な方 等
- 終末期ケア、看取りの支援が必要な方

担当者紹介

介護医療院 2階

医師

日本皮膚科学会認定皮膚科専門医・認知症サポート医・
日本医師会認定産業医・日本医師会認定健康スポーツ医

齊藤 友紀子



看護師長

村井 孝枝



介護主任

桜井 里恵



介護支援専門員

丹羽 百合衣



介護医療院 3階

医師

福祉村病院外来診療部長・日本神経学会専門医／指導医・日本認知症学会専門医／
指導医・日本内科学会認定医・認知症サポート医・愛知県公安委員会認知症認定医

継 泰城



看護師長

原田 舞香



介護主任

西村 佐知子



介護支援専門員

榊原 利夫



介護医療院 4階

医師

福祉村病院院長・福祉村病院介護医療院院長・日本医療安全学会認定／
高度医療安全推進者・日本慢性期医療協会認定／総合診療医

小橋 修



看護師長

柴崎 多真美



介護主任

犬塚 久美



介護支援専門員

竹田 昌代



介護医療院 5階

医師

精神科専門医・精神科研究施設指導医・
精神保健指定医

川淵 優



看護師長

田澤 民江



介護主任

榊原 志穂



介護支援専門員

村上 佳範



職員説明会

三月十六日から十九日の四日間、福祉村
病院介護医療院の開設に向けた医療法人
全職員対象の職員説明会を開催しました。
これまでも、随時、最新情報を職員間
で共有して参りましたが、最終確認も含め
て、今回は社会福祉法人さわらび会の職員
にも参加していただきました。
この説明会を通して、職員が介護医療院
に対する理解を深め、職員一同協力して、
入所者様及びご家族に安心してご利用いた
だける様、努めてまいります。



医療法人さわらび会 福祉村病院介護医療院

〒441-8124 豊橋市野依町字山中19番地の14

電話 ● (0532) 46-7511 (代)

月曜日～金曜日 / 9:00～18:00

<https://www.fukushimura.net/>

「感染症予防対策」の実施について

～障害者支援施設 珠藻荘～

珠藻荘では去年荘内でインフルエンザが流行したことを踏まえ今年の一ヶ月より職員が常時アルコールを携帯して手指衛生に取り組んでいます。更に感染対策を進めていくため、二月より利用者・職員がよく触れる手すり、ドアノブ、エレベーター内のボタン等についた汚れを一日一回除菌クロスで拭き取る環境消毒の取り組みを追加しました。全職員が日替わりで行うことで職員の意識向上に繋がっているため、このまま感染対策について気を引き締めて取り組んでいきます。

(廣瀬)



役割のある生活の実現

～グループホーム 白珠～

グループホーム白珠に入所をされている方々の平均介護度は1.6と比較的お元気な方が生活されています。そのため認知症の診断はあっても「できる」ことが多く、日頃から様々なお手伝いを行っていただいています。

今回、機関誌である「さわらび」の発送作業の一部のお手伝いをお願いしたところ、快く引き受けてくださり、職員も大変助かっています。「今、できることをしていただく」ことを見つければ、人の役に立っている事を実感していただけることを、これからも皆で検討していきます。

(渡邊憲)



眠りscanを導入しました

～特別養護老人ホーム 天伯～

二月二十日から天伯では「眠りscan」という機器を五台導入しました。眠りscanとは、マットレスの下に敷いておくことで、ベッド上にいる方の睡眠状態や起き上がり、呼吸数や脈拍数といった情報をパソコンやスマホで確認できるという機器です。また、過去、ベッド上にいた際の睡眠時間、呼吸数、脈拍数をグラフで確認する機能、起き上がりや呼吸数の極端な上下等の条件を設定しアラームを鳴らす機能もあります。

眠りscanを用いることで、より詳細な利用者様の健康状態の把握や素早い転倒防止対応を見込んでいきます。新しい機器を上手に利用し、利用者様の安全な暮らしをサポートしてまいります。

(塩見)



成年後見制度勉強会

～障害福祉サービス事業所 明日香～

二月二十日、明日香の食堂にて豊橋市成年後見支援センターの古地様をお招きし、成年後見制度の勉強会を行いました。

それまでの「禁治産準禁治産制度」に変わる新しい制度として平成十二年に施行されたことや、変更点、成年後見制度のしくみ、申請の流れなどを講義いただきました。

少し難しい内容でしたが、実際の相談内容などを交えながら分かりやすくお話していただきとても勉強になりました。

これからの勉強会でも出張講義を利用して職員のスキルを上げ、質の高いサービスが提供できるようにしていきたいと思えます。

(岸)



給与制度等改定説明会

～医療法人さわらび会～

二月十七日から十九日までの間に、三月二十一日から適用される医療法人さわらび会給与制度の改定説明会を行いました。

これまでの給与制度では、明確な給与表がない中で運用をしていましたが、外部のコンサルティング会社を交えて給与制度等の再整備を行いました。

(安藤)

【主要な改定ポイント】

- 職群毎の給与表を作成
- 各給与表毎に職務・職責に応じた級の設定
- 諸手当及び退職金制度の見直し
- 就業規則等の諸規程の改定

なお、現在支給されている基本給等の月額支給による固定給は、下がることのないように配慮して制度移行をします。

地域包括支援センターの活動

～さわらび地域包括支援センター～

二月に地域包括支援センターで行った活動を、報告いたします。

～さわらび地域包括支援センター～

- 五日 ● 牛川下条地区民生委員定例会に参加
- 石巻地区民生委員定例会に参加
- 十六日 ● 県営金田住宅ふれあいサロンに参加

～福祉村地域包括支援センター～

- 二日 ● 芦原校区老人会「友の会」にて出前講座開催
- 八日 ● 野依校区の居場所「元気会」にて出前講座開催
- 十五日 ● 芦原校区老人会「長生会」にて出前講座開催

福祉村保育園の皆さんへプレゼントを贈りました

～軽費老人ホーム 若菜荘～

今年もお正月に園児の皆さんから手作りの年賀状を全入居者様にいただき、楽しいお正月を過ごすことができました。また、一年を通してシャボン玉遊び、歌や踊りなどの交流会を行いたくさんの元気を園児さんからいただきました。

これらの一年間の感謝のお礼がしたいと若菜荘自治会の皆様から提案があり、保育園の先生方に相談をして、自治会費から知育玩具をプレゼントさせていただきました。

(石田)



行事報告

～障害者支援施設 あかね荘～



2月10日／ひだまり班活動

～福祉村障害福祉サービス事業所 しろがね～



3月3日／ひなまつり



2月2日、19日／うめまつり

小さな花壇の住人たち

—谷さゆり—

ジエム北側出口から福祉村公園へ向かう道の途中、正面左手に小さな花壇が見えてきます。この花壇には特別な力を持った植物たちが暮らしています。

今月の花 ローズマリー

海のしずくという学名を持つローズマリーは細長い葉と小さな花をつけ、こするとマツに似た爽やかな香りがします。

古代ギリシア時代から記憶力を高める効果があると信じられ、学生はローズマリーの枝を頭に差したり冠をかぶって勉強したそうです。数年前には軽度のアルツハイマー型認知症患者の症状が改善するとしてマスコミで報道され話題にもなりました。

ローズマリーはこれ以外にも様々な薬効があります。食材としてはハーブティーとして飲用されたり、消臭効果や抗菌作用、抗酸化作用のあるスパイスとして生肉の鮮度保持に役立てたり料理の香りづけなどに使われます。

また香料として香水、入浴剤、ポプリなどにも利用されます。

この花壇には四本のローズマリーが暮らしています。

どこにいますか？分かったらそつと葉っぱをこすってみてください。



学名:Rosmarinus officinalis
和名:マンネンロウ(迷迭香) 英名:rosemary
科名/属名:シソ科/マンネンロウ属(ロスマリヌス属)

Vol. 145 relay column さわらび会のわ

障害福祉サービス事業所 明日香 山本 菜月



今年はおリンピック

が注目されていますね。

私は子供の頃からテニスを続けています。テニスは何歳からでもスタートでき長く続けられ、よく「生涯スポーツ」と言われています。そんな幅広い年代が行う魅力は沢山あります。

メリット①、「痩せられる」有酸素運動と無酸素運動が繰り返され、一時間あたり約三〇〇〜四〇〇キロカロリーが消費されます。

メリット②、「長生きできる」海外の研究によると、テニスを長年続けている人の寿命は運動をしない人よりも約十年も長く、他の種目を凌いでいます。

テニスに限らず言える事ですが、スポーツを通じて健康で充実した日々を送りたいものですね。

私のよなやん

福祉村老人保健施設 ジエム
グレン・ティンバル・ハリナ

出身 ● フィリピン ボホール州
学歴 ● UNIVERSITY OF CEBU
BANLAD
資格 ● 看護師



私の出身地は、ボホールという美しい自然が豊富な島です。ボホール島はフィリピン中部のビサヤ諸島にあります。フィリピンの群島では十番目に大きい島で、タルシエと呼ばれる世界最小の猿の本拠地でもあります。

ボホールでは、三月から五月の夏の間、国のトップ観光地の一つとなり、美しい自然を活かしたエキサイティングな体験をすることが出来ます。また、チョコレートヒルズという、密集した丘の有名なビューティースポットがあります。名前の由来は、夏期中に丘がチョコレートのように茶色になる美しい景色から取られています。その他にも、島の周囲にある白砂のビーチが有名で、ダイビング、シュノーケリング、島巡りなどのマリンスポーツを楽しむことができます。

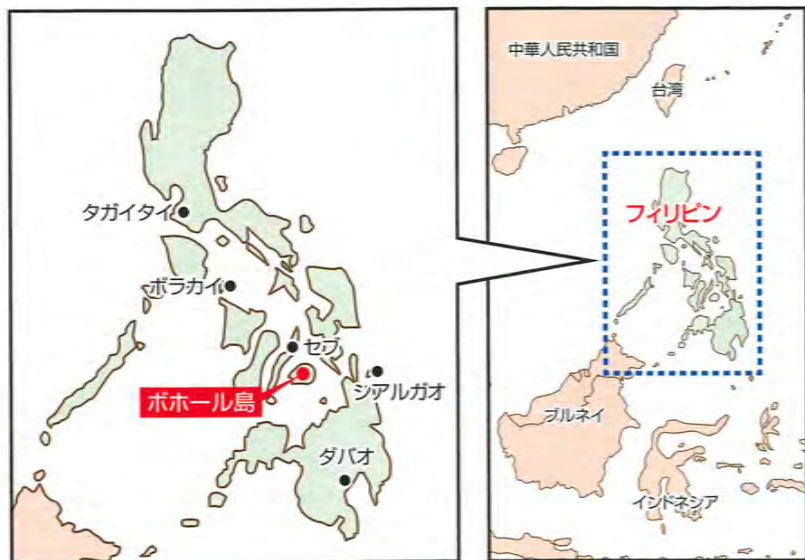
ボホールは「穴」という意味で、その名の通り、洞窟がたくさんあり、ガイドに案内してもらい異なる洞窟のユニークな特徴を発見することができます。

ロボックという町にある「ボホールリバークルーズ」では、透明なロボック川を巡りながら、地元のパフォーマーが提供するエンターテインメントを観賞したり、水上レストランで食事したりすることができます。

一方、歴史的遺産に関しては、スペイン文化の影響を大きく受けており、建物の構造を通して歴史を感じることが出来ます。古い教会は、数百年前のスペイン時代からあり、島民の方言もスペインの植民地時代に影響を受けています。ボホールは、古い世界と現代の世界の融合が見える場所です。

ボホールは美しい自然だけでなく、平和で親しみやすい住民から、首都であるタグビララン市は「友情の街」と呼ばれています。皆さんもこの島に来たら最高の体験ができるでしょう。私はボホールが故郷で本当に恵まれていると思っています。

フィリピン ボホール州周辺の主要都市



第11回 さわらびキッチン 栄養士のつぶやき

明日香 管理栄養士 菅沼麻彩子

四月といえば新生活が始まる季節。入学や就職を機に一人暮らしをする方も多いのではないのでしょうか。自炊をしたいけれど時間がない、食材が余ってしまう、そんな悩みを解消に役立つ野菜の冷凍保存法をご紹介します。

まず、余りそうな野菜は、傷みそうになつてからではなく、うみや栄養価を保つため、初めから冷凍で保存します。休日はこの作業をしておくと便利です。キャベツや白菜、大根、人参、玉ねぎなどは洗って、使いやすい大きさに切り、保存袋に入れられます。ほうれん草やブロッコリー、南瓜や芋類などは下茹でしてから同様に保存します。どちらも水気をしっかりと取り、アルミトレイや保冷剤を使って、素早く冷凍することがポイントです。酸化や乾燥を防ぐため、保存袋の空気もしっかり抜きます。保存できる期間は種類や条件にもよりますが、二週間から一か月を目安に使い切りましょう。

加熱をする際は解凍をせず、凍ったまま調理します。冷凍野菜は火の通りが早いので時短にもなります。お浸しや和え物に使う場合は熱湯をかけるなどして、汁気をしほって使います。

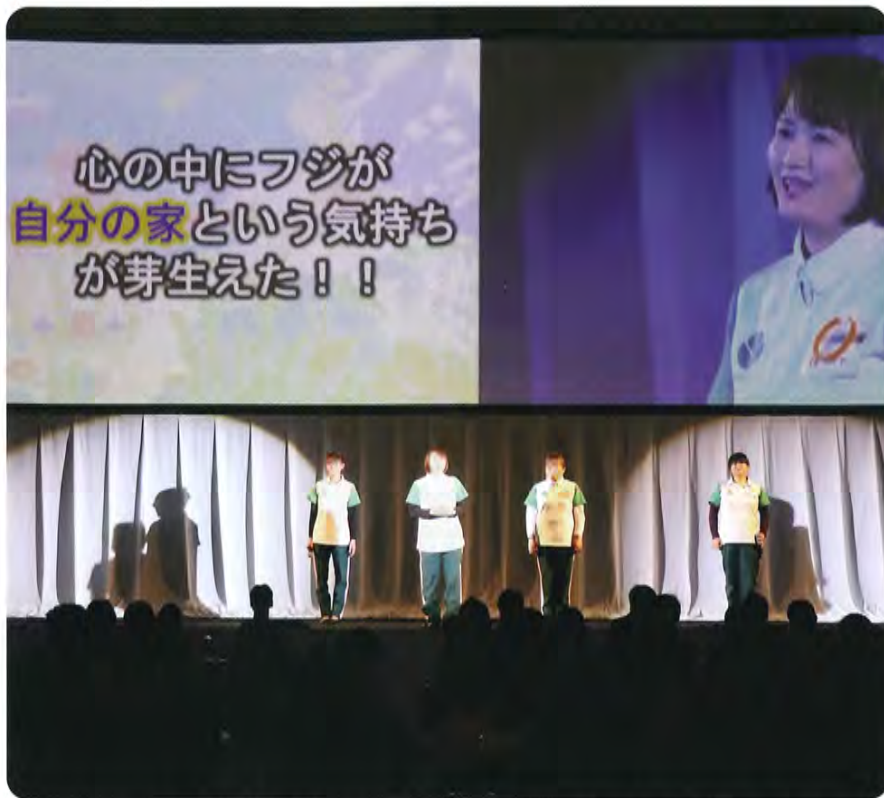
一般的に水分の多い野菜は冷凍保存に向かないとされていますが、レタスやもやしも保存可能です。もやしはひげを取り、保存袋に入れ替えます。

レタスはサラダには使えませんがスープや炒め物に使うことができます。

冷凍保存で無駄のない自炊生活はいかがですか。

第9回介護甲子園 決勝大会

グループホーム フジ 在宅部門 優秀賞 受賞



2月27日、インテックス大阪にて第9回介護甲子園決勝大会が開催されました。介護甲子園は、全国の介護スタッフが介護の魅力や施設の取り組みを発表するイベントで、全国の7,671事業所から、在宅部門3施設、施設部門3施設が選ばれ決勝大会に挑みました。グループホーム フジは「心地よい、楽しい住まいとなる為に」というテーマで発表を行い、来場者による投票の結果、優秀賞を受賞しました。舞台にあがった4名のフジ職員は、それぞれ緊張はありましたが、精一杯、介護の仕事のやりがいを観客に伝えました。(白井有)

編集後記

三月中旬、保護者一人だけが参加を認められた卒業式当日は例年よりかなり早く開花した早咲きの桜が満開でした。中国武漢周辺で確認された人類が初めて対峙するSARS-CoV-2による新型コロナウイルス感染症で突然の小・中学校の全国一斉休校やセンバツ高校野球の中止、大相撲やプロ野球の無観客試合、スポーツ大会、ライブや学会などのイベントの自粛が相次ぎ、またマスクの在庫は無くデマによりトイレトーパーも一時店頭から消えました。日本だけでなく世界各地で入国制限や渡航制限、外出制限など非常事態となつています。こんな時だからこそ冷静な正しい情報を手に入れる事が重要です。新型コロナウイルス感染症の特設ページでは最新情報は日本医師会HPや厚生労働省の特設ページがおすすすめです。厚労省はLINE公式アカウントでは新型コロナウイルス感染症の発生状況や予防方法を確認できます。私も使ってみました。手が軽に最新の情報が確認でき使い勝手は良いと思えました。(谷)

- 福祉村病院 ☎(0532)46-7511
- 福祉村老人保健施設 ジュゲム ☎(0532)46-7501
- 特別養護老人ホーム さわらび荘 ☎(0532)54-3501
法人本部 豊橋市浪ノ上町7-2
- グループホーム 白珠 ☎(0532)66-0082
- 地域密着型サービス事業所 常盤 ☎(0532)62-3370
- 特別養護老人ホーム 第二さわらび荘 ケアハウス カサ デ ローザ ☎(0532)37-1209
- 特別養護老人ホーム カサ ブランカ ☎(0532)69-1701
- 地域密着型サービス事業所 カサ デ ヴェルデ ☎(0532)23-5552
- 特別養護老人ホーム 天白 ☎(0532)48-1113
- グループホーム フジ ☎(0532)54-5477
- 軽費老人ホーム 若菜荘 ☎(0532)48-1138
- 障害者支援施設 珠藻荘 ☎(0532)47-1050
- 障害者支援施設 あかね荘 ☎(0532)48-2825
- 障害福祉サービス事業所 明日香 ☎(0532)46-6579
- 福祉村障害福祉サービス事業所 しろがね ☎(0532)48-1032
- 福祉コンビニ(東雲町) ☎(0532)69-5666
- 第二福祉コンビニ弥生 ☎(0532)38-9090
- サービス付き高齢者向け住宅 シャトーローズ八町 ☎(0532)52-0005
- 介護付き有料老人ホーム フェリス福祉村 ☎(0532)47-2202

医療法人・社会福祉法人
さわらび会
理事長 山本孝之